

おち町

議会だより OCHI TOWN

No 131

2020 (R2) 2/1
高知県越知町議会



みんなに会えて嬉しい

1/3 (14面参照)

12月定例会

- 4P 中学生の議会見学の感想
- 6P 創生総合戦略を検証
- 11P 起債(借金)のピークなど(議案質疑)
- 15P 教育行政、農業振興など6人が問う(一般質問)

2月21日(金)午後5時30分から谷ノ内集会所で、議会報告・懇談会を開催します。
多くの皆様のご参加をお待ちしています。
詳しくは、14面をご覧ください。

議会です
こんにちは

連載：若者登場⑩



織田彩嘉さん
(高知小津高校3年 野老山)

井上結依さん
(高知工業高等専門学校3年 野老山)

122号から若者に焦点を当て、インタビュー記事掲載しています。今回は高知工業高等専門学校の井上さんと高知小津高校の織田さんに、お伺いしました。

議事を傍聴しませんか
12月定例会の傍聴者は延べ40人でした。次の定例会は3月6日開会の予定です。大勢の傍聴をお待ちしています。



問 高校卒業後の進路はどのように考えていますか。
井上 高専は5年間なので2年ありますが、県内就職で土木関係の仕事に就くと思います。できれば越知に住みたいと思っています。
織田 高知県立大学の社会福祉学部を受かったので、社会福祉について勉強し越知で学校関係につけたらいいなと思っています。

問 今年の選挙に行かれましたか。
井上 テスト期間と重なり行けませんでしたが。
織田 投票日に行きました。

問 越知町のどんなところが好きですか。また、要望はありますか。
井上 自然豊かな山に囲まれた風景と、人々の温かさに、癒やされるところが好きです。
織田 小・中学校で町内の介護施設に行き、いろんな年代の人と関わりもできて温かい人ばかりで好きです。

問 理想とする男性像がありますか。
織田 思いやりがあり、優しい人がいいと思います。
井上 私も同じで、やっぱり性格が大事だと思います。

問 「おち町議会だより」を読んだことはありますか。
井上 よく見えています。
織田 楽しそうな感じで、同級生とも出ており、面白いと思いました。

問 要望は、コスモスカードを使える商店をもっと増やしてほしいです。

問 「おち町議会だより」を読んだことはありますか。
井上 よく見えています。
織田 楽しそうな感じで、同級生とも出ており、面白いと思いました。

* 本日は、年末のお忙しい中、ありがとうございました。目標に向かって学生生活を楽しんでください。(取材班)

編集後記

令和元年11月29日、こうち人づくり広域連合主催の広報研修会に参加してきました。全国広報コンクールで12回入賞という本町議会に講師の依頼があり、越知町を知ってもらおう絶好のチャンスだと前向きに捉え、講師を引き受け、猛練習をし本番に臨みました。アンケートでは、「具体的な内容でも参考になった」「議会広報への熱意を感じた」など嬉しい感想をいただきました。貴重な研修機会を与えてくださった関係者の皆様に感謝申し上げます。今回の研修を通して、委員5人のチームワークはより深まりましたので、さらに分かりやすく読みやすい広報づくりに努めてまいります。

《市原》

越知中学生が 議会を見学

一般会計補正 1億1354万円

12月定例会は、6日から10日までの会期で開き、会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定〔13面に関連記事〕、令和元年度一般会計補正予算など14件と専決処分1件を全会一致で可決・承認し、人事案件1件に同意しました。
一般質問〔15面から〕は6人が登壇し、執行部の考えをいただきました。

Contents No.131 Feb 2020

- 4 中学生の議会見学の感想
- 6 まち・ひと・しごと創生総合戦略4年半の総括を検証
- 議案質疑
- 11 起債（借金）のピークなど
こんなことが決まっただけよ
- 13 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定など
- 6人が一般質問
- 15 教育行政・農業振興など
- 23 広域議会
- 24 議会ですこんにちは
連載：若者登場⑩

12月9日に越知中学校1年生33人が一般質問を真剣に見学しました。

令和元年度補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	1億1354万円	49億6530万円
簡易水道特別会計	90万円	5578万円
下水道事業特別会計	1122万円	1億8796万円
国民健康保険事業特別会計	1419万円	7億4772万円
介護保険特別会計	3006万円	11億1931万円
横倉山自然の森博物館事業特別会計	71万円	2776万円

《賛成全員》

今回の中学1年生による議会見学は、昨年につき3回目となります。間近で見る議会一般質問の様子、内容、気づきや発見、提案・意見までいただきました。その中から、4人の感想文を紹介します。

議会見学の感想文の一部を紹介します

議会見学に行って越知町の人のために公平に話し合い、理由をちゃんと言ってから、この問題はどのようにするのかと決めていた。このことから、越知町のことを真面目に考えてくれていると知って、うれしいなと思いました。議会の最初のところで見学が終わったので、もう少し見学したかったなと思いました。

問題に対してどのような理由でどのように対処していくかをもっと詳しく知りたかったと思いました。

この体験から越知町の問題がどう対処されているかを知ることができました。

僕は将来越知町のために役立てるような仕事に就きたいと思いました。

議会見学をさせていただきありがとうございました。

齋藤 翼

議会見学をし、町民の困っていることや、問題を話し合っていると分かりました。議長を中心に質問などを聞いてまとめていくことが分かりました。質問者は誰が聞いても納得できるような理由を述べ、町民の声も取り入れながら質問していたところがすごいなと思いました。また、相手に質問するときは相手を見て発言し、答えてもらうときは、相づちを打ちながら聞いていくところから話をしっかり聞いていることが分かりました。市原議員は、現状を踏まえながら質問しているところが分かりやすかったです。また、答える側も正しいデータを言いながらしていたので正確性があるなと思いました。箭野議員は、「自分が体験したことを述べ、「こんなことをしてはどうですか?」と提案しているところが納得しやすかったです。とてもいい経験になりました。

小田 野乃花

議会の見学に行ってみて、越知町の安全のことや防災のことを町民の意見を聞いて議会で意見を出してみんなが納得する答えを出していると分かりました。

出された意見で大事な意見と思ったのは、防災対策の住民がとるべき行動をレベル1から5までの段階に分けた避難指示の内容が書かれたものをテレビでよく見るけど、全戸に配るのはという考えです。

ぼくは、テレビで見るけど見逃すことがある人があるかもしれないから、全戸に配るといいと思いました。

あと1つは、安全対策です。「ライセンスカード」を発行することで乗り手側の安全意識が高まるということです。この前交通事故があったので、ライセンスカードを作ったらいいと思いました。

横山 汐音

ぼくは、あんなに緊張感がある場所に初めて行きました。知り合いもいたので、見ているだけで緊張しました。議会が始まったときに地域の人や、生活のことを考えての質問に対して、わかりやすく返答して、その質問に対して今までどうしていたかななどを説明していました。これからのことは、また話して決めるなどすべての質問に対して分かりやすく、説得力のある返答でこれからの越知をどうしていくかなどがいろいろ分かりました。質問する側も今の状況に合わせており、これから越知に住む人や来るお客さんなどのことを考えた内容でした。また、答えに対して詳しく聞いたりして、今後のことも知ることができ良かったです。

麻田 悠斗

総合戦略を検証



11月21日に、町幹部職員を交え全員協議会を開き、まち・ひと・しごと創生総合戦略「おち家の挑戦」の4年半の総括と第2期の改訂の方向性を検証した。

越知町まち・ひと・しごと創生総合戦略 4年半の総括シート（抜粋）

【基本目標2】新しいおち家の家族をつくる				
基本目標	数値目標	出発点	達成見込（達成率）	評価
人口の社会移動	5年間（H27年度～R元年度）で50人以上の社会増	-	-87人（-%）	C
KPI				
基本目標	数値目標	出発点	達成見込（達成率）	評価
①町ホームページのアクセス数	R元年度までに20%増加	327,041件（H26年度）	691,717件（176%）	S
②住民アンケートによる「情報発信」に対する満足度	R元年度 70%以上	49.5%（H23年度）	60.2%（86%）	A
③おちふるさと応援隊会員数（累計）	R元年度までに100人	-	0人（-%）	C
④ふるさと納税額	R元年度 150,000千円	4,040千円（H26年度）	146,610千円（98%）	A
⑤移住相談件数	R元年度 100件	66件	84件（84%）	A
⑥移住者数（累計）	R元年度までに200人	-	223人（112%）	S
⑦地域おこし協力隊員数（累計）	R元年度までに10人受け入れ	-	20人（200%）	S

【基本目標3】若い世代・子育て世代の希望をかなえ、住みたい・住み続けたいまちづくり				
基本目標	数値目標	出発点	達成見込（達成率）	評価
合計特殊出生率	R元年度に1.64	1.44（H20～H24年平均）	集計中	
KPI				
基本目標	数値目標	出発点	達成見込（達成率）	評価
①出会いの場への参加者数	R元年度 延べ50人	延べ24人（H26年度）	0人（-%）	C
②住民アンケートによる「安心して妊娠、出産できる環境」の満足度	R元年度 80%以上	-	48.8%（61%）	A
③住民アンケートによる「子育て支援の充実」の満足度	R元年度 70%以上	50.3%（H23年度）	59.8%（85%）	A
④子育て世代の防災対策への満足度	R元年度までに15%以上向上	38%（H27年度）	66%（125%）	S

【基本目標4】越知の未来を担う人づくり				
基本目標	数値目標	出発点	達成見込（達成率）	評価
15歳～39歳の人口（住民基本台帳）	R元年度に950人 ※参考：H21年度末 1,321人	1,066人（H26年度末） （総人口に対する割合17.7%）	950人（100%）	S
KPI				
基本目標	数値目標	出発点	達成見込（達成率）	評価
①住民アンケートによる「学校教育の内容充実及び学校・家庭・地域の連携による教育力の向上」の満足度	R元年度 70%以上	54.1%（H23年度）	62.4%（89%）	A
②新たな多世代による交流の場の創出（累計）	R元年度までに2件	-	3件（150%）	S
③産業の担い手候補者（移住者を含む）（累計）	R元年度までに20人	-	28人（140%）	S
④起業支援による起業家（累計）【再掲】	R元年度までに5人 （女性2人含む）	-	5人（女性1人）（100%）	S
⑤町内企業への就職者数（佐川高校生）（累計）	R元年度までに2人	2人（H26年度）	3人（150%）	S
⑥町が委嘱する委員会等の女性委員の割合	R元年度までに3割以上	-	3.8割（127%）	S

【基本目標5】安心していつまでも暮らし続けられる地域づくり				
基本目標	数値目標	出発点	達成見込（達成率）	評価
集落活動センター開設	R元年度までに2箇所	-	1箇所（50%）	B
KPI				
基本目標	数値目標	出発点	達成見込（達成率）	評価
①集落活動センター開設に取り組む地区の数（累計）	R元年度までに3箇所	-	1箇所（33%）	B
②住民アンケートによる「山間集落の維持機能。活性化対策」に対する満足度	R元年度 60%以上	39.2%（H23年度）	43.6%（73%）	A
③イノシシの捕獲目標頭数	R元年度 350頭	265頭（H26年度）	350頭（100%）	S
④猟師後継者（20歳代～40歳代）（累計）	R元年度までに2人増	2人（H26年度）	4人増（200%）	S
⑤自主防災組織率	R元年度までに100%	94.9%（H26年度末）	100%（100%）	S

基本目標	評価基準	評価数
S	・目標を達成したもの →目標の達成率（または達成見込率）が100%以上	25+α
A	・目標をほぼ達成したもの →目標の達成率（または達成見込率）が60%以上100%未満	10+α
B	・目標の達成に向けて十分な進展が見られなかったもの →目標の達成率（または達成見込率）が60%未満	4+α
C	取り組み開始時と比べて、数値を改善もしくは維持できなかったもの	6+α

※基本目標3 合計特殊出生率は県の集計待ち

【基本目標1】地域資源を活かし雇用を創出（農業・林業）				
基本目標	数値目標	出発点	達成見込（達成率）	評価
新規就農者数	13人	-	14人（108%）	S
林業従事者数	8人増加	2人（H26年度）	3人増加 計5人（38%）	B
KPI（農業の振興）				
基本目標	数値目標	出発点	達成見込（達成率）	評価
①集落営農組織の育成（累計）	R元年度までに5組織	2組織（H26年度）	3組織（60%）	A
②ミシマサイコの作付け面積（累計）	R元年度までに23ha	21.4ha（H25年度）	7.6ha（-%）	C
③山椒の作付け面積（累計）	R元年度までに48ha	45.8ha（H25年度）	43.9ha（-%）	C
④観光物産館おち駅（越知産市）の売上額	R元年度 100,000千円	65,000千円（H26年度）	104,425千円（104%）	S
⑤6次産業化に取り組む新規事業者（累計）	R元年度までに2人	-	0人（-%）	C
⑥就農補助金を活用した新規就農者（累計）	R元年度までに5人	-	1人（20%）	B
KPI（林業の振興）				
基本目標	数値目標	出発点	達成見込（達成率）	評価
①作業道開設延長	R元年度までに1.5km	-	2.5km（167%）	S
②新規林業参入事業者数	R元年度までに1社など	-	1社（100%）	S

【基本目標1】地域資源を活かし雇用を創出（商工・観光）				
基本目標	数値目標	出発点	達成見込（達成率）	評価
新規起業家数	5人	-	11人（220%）	S
観光入込客数	10%以上増加	7.5万人（H25年度）	10万人（121%）	S
KPI（商業の振興）				
基本目標	数値目標	出発点	達成見込（達成率）	評価
①空き店舗活用件数（累計）	R元年度までに3件	-	4件（133%）	S
②住民アンケート「魅力ある地域づくり」に対する満足度	R元年度 70%以上	48.2%（H23年度）	55.7%（80%）	A
③起業支援による起業家（累計）	R元年度までに5人（女性2人含む）	-	5人（女性1人）（100%）	S
KPI（観光の振興）				
基本目標	数値目標	出発点	達成見込（達成率）	評価
①カヌー・ラフティング利用者数	R元年度 2,500人	1,150人（H26年度）	2,500人（100%）	S
②横倉山自然の森博物館の入館者数	R元年度 8,000人	5,340人（H26年度）	7,100人（89%）	A
③観光ガイドの養成数（累計）	R元年度 10人	6人（H26年度）	19人（190%）	S
④新たな観光旅行商品開発（累計）	R元年度 3件	-	10件（333%）	S
⑤キャンプ場宿泊者数	R元年度 9,400人	-	9,400人（100%）	S

次ページに質疑

4年半の総括

田村産業課長 ショウガ、ピーマン、文旦などを作っている。

新規就農 どのような作物を作っているのか

岡林議員 新規就農者数が14人で108%になっている。どのような作物を作っているのか。

サンショ・ミシマサイコ

減っている理由を山橋議員 サンショとミシマサイコの作付け面積が減って評価はCとなっているが理由は。



現地確認を受ける新規就農者

田村産業課長 サンショは契約先との出荷量の調整があった。ミシマサイコは、契約先が1年物から2年物に変更したいという話があり、作る農家が減少した。また、発芽率が大変悪かったこと、病気等もかなり出たことによる。

新規林業 どのような会社か

岡林議員 新規林業参入事業者数1社は、どのような会社が入ったのか。前田建設課長 佐川町、仁淀川町で事業している業者が新たに越知町へ参入してきた。

新たな観光旅行商品

開発商品の内容は

岡林議員 新たな観光旅行商品開発（累計）数値目標3件が達成見込み10件と非常に多いが、開発した商品の内容は。

大原企画課長 宿泊施設として、谷ノ内のゲストハウス、稲村の民泊、横島の集落活動センターの4件である。ラフティング2件、カヌー2件、川舟事業1件、観光協会の横倉山トレッキング1件である。



NPO法人仁淀ブルーが提供する「仁淀川和船清流遊び」

ふるさと応援隊

ゼロの理由は

武智議員 ふるさと応援隊の会員数はゼロとなっているが、理由は。

大原企画課長 ふるさと納税をした人におち応援隊になってもらい、越知へ来ていただき、付加価値を付ける計画をしていた。納税額の3割を超える返礼品は、法違反に該当する恐れがあると県に指導され、計画が止まった。

地域おこし協力隊

何人が越知に残っているか

箭野議員 地域おこし協力隊員数受け入れ目標10人のところ、達成見込み20人、200%となっているが、退任後に何人が越知に残っているのか。

6人いる

大原企画課長 卒業して定住した人は6人いる。その内起業した人は3人、地元で就業した人が1人、集落支援員となった人が1人、主婦が1人となっている。

熱中小学校

開催日も課題

箭野議員 熱中小学校は土曜日の午後開催ということで、町のイベント等と重なり参加が難しい。開催日も課題の1つと考える。

受講生はどういう起業を

大原企画課長 土曜日の開催にこだわらなければ、塾生も増えると思うので、事務局と検討している。

食品関係

大原企画課長 食品関係である。

出合いの場

0人となっているが

市原議員 出合いの場への参加者数が24人から0人となっている。継続となっているが、どうするのか。

15歳から39歳の人口

S評価の理由は山橋議員 15歳〜39歳の人口評価Sの理由は。

住宅施策が1つの要因

大原企画課長 15歳〜39歳の人口を数値目標の950人に留めたので、S評価となった。フォレストタウンおち等の移住施策を進めたことが要因である。

町内は参加しづらい

大原企画課長 越知町内での出合いの場、婚活イベントには参加しづらいという声が多く、参加者が見込めない。今後、方向性を検討し継続したい。

第2期方向性

山林保全

見込みを持っているのか

武智議員 支援制度を創設して、地区が主体となって取り組んでいくということだが、見込みを持っているのか。

林業の担い手

協議をしたことは

武智議員 建設業から異業種である林業参入の可能性は希薄とあるが、協議をしたことはあるか。

空き家バンク

民間に委託を

武智議員 登録された空き家バンクの管理を民間に委託できないか。

まだない

前田建設課長 まだない。新たな制度の中で、そういう場を持っていきたい。



増える空き家の対策は急務



50世帯90人が暮らすフォレストタウンおち

博物館

数値目標を高く

市原議員 横倉山自然の森博物館入館者の数値目標が、8000人となっているが、もっと目標を高く上げて取り組むべきでは。

検討していく

谷岡教育次長 まずは、8000人をクリアすることを目標としているが、数値については検討していく。



地域おこし協力隊による博物館イベント「カラフルナイトミュージアム」

仁淀ブルー観光協議会

観光案内できる仕組みができないか

武智議員 土佐市、池川安居間で、食事・宿泊・充電場所を観光案内できる仕組みがあれば観光客の満足度が上がる。県の観光クラスター事業を、仁淀ブルー観光協議会で活用できないか。



食をつなぐ仁淀ブルーの観光パンフレット

大原企画課長 仁淀ブルー観光協議会の業務としてできるか、事務局と話をしてみたい。

おち駅から発信

どの売り上げか

武智議員 BBQセット販売数104とあるが、どの売り上げか。

おち駅の売り上げ

大原企画課長 おち駅の売り上げである。

地域おこし協力隊

メリットは

箭野議員 地域おこし協力隊事業は拡充し、部署を増やすとあるが、交付税、新しい風を入れる以外のメリットは。

人口増になる

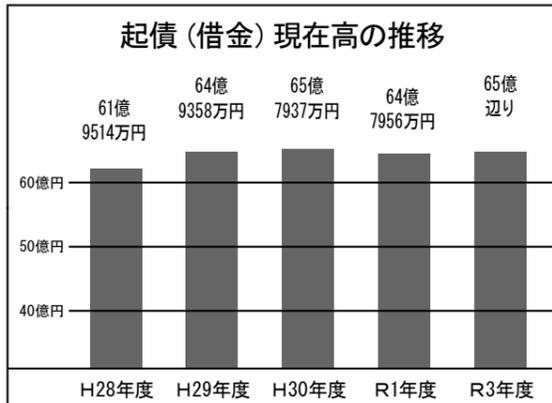
大原企画課長 任期終了後も越知に残ることが移住定住につながるが、人口増のメリットになる。



1人家族が増えました

令和3年辺りがピークに

起債(借金)残高 64億7956万円(元年度末見込み)



総務課

起債のピークは

山橋議員 起債のピークは何年頃になるか。

令和3年辺り

織田総務課長 令和元年度末の起債残高は、64億7900万円程度の見込みである。

今の推計では、令和3年辺りで65億円くらいがピークと見ている。

町民バス停整備 77万円

内容と場所は

森下議員 町民バス停車場整備の内容と場所は。

織田総務課長 主要な6路線のバス停36カ所に柱を立て時刻表を付ける。

危機管理課

感震ブレーカー 購入費補助金25万円

どれだけ普及できるか

武智議員 25万円ですべて普及できるのか。

7地区の分

上田危機管理課長 市街地を除く、希望のあった7地区の分である。

建築物耐震対策緊急促進事業費 補助金224万円

内容と件数は

武智議員 建築物耐震対策緊急促進事業費補助金の内容と件数は。

診断費用1件分

上田危機管理課長 県耐震改修促進計画に記載された道路で、国道33号と町道中央線の一部の区域が事業対象となる。件数は1件分である。



事業の対象となる道路(黒線部分)

企画課

かわの駅指定管理料
還元の内容は

岡林議員 かわの駅キャンプ場指定管理料還元の内容は、事業を除く利益部分の3割以内を越知町に還元という指定管理契約をしている。
平成30年度分が確定したので、予算計上した。



大賑わいのラフティング

建設課

ダンプトラック400万円



18年間使用したダンプ(真ん中)

森下議員 備品購入費ダンプトラック400万円は新車か。作業班が使うのか。
修理費の見積もりが高額となり、新車購入が有利と考え、作業の利便性も考慮して、3トンダンプトラックに買い替える。

前田建設課長 作業班使用の2トンダンプトラックが、令和元年9月に警告灯が点滅する故障が発生した。

教育委員会

滝上町児童交流事業実行委員会補助金 121万円

市原議員 滝上町児童交流事業実行委員会補助金121万円の内容は、残り2月6日から2月8日までの冬の交流分を計上した。

冬的交流分 谷岡教育次長 当初予算に夏の交流分と冬の飛行機代を計上している。



初めてのスキーを楽しむ

条例の制定

非常勤職員や臨時職員の大部分は「会計年度任用職員」に



待遇が改善される臨時職員

会計年度任用職員の給与及び費用弁償

臨時的任用職員及び非常勤職員の適正な任用の確保を目的とした法律が公布され、令和2年4月1日施行される。
この改正により「会計年度任用職員」制度が始まることに伴い条例を制定する。
(4月1日施行)

《賛成・全員》

背景

地方自治体の臨時・非常勤職員は、地方行政の重要な担い手でありながら、現行の地方公務員法では制度が不明確となっており、自治体により雇用の根拠が様々な状況であるので、新たに全国統一の制度とする。

本町における会計年度任用職員の制度概要

フルタイム会計年度任用職員	勤務時間	1週間当たり通常 38時間 45分
	給与	行政職 1級、2級相当
	手当	勤務・時間外・休日勤務・夜間・期末
パートタイム会計年度任用職員	勤務時間	1週間当たりの通常 38時間 45分より短い職員
	報酬	フルタイム職員と同じ給与表を使用し、勤務時間に応じて算出
	手当	時間外・休日勤務・夜間・費用弁償・期末

関係条例を整備

「会計年度任用職員」制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例を制定する。
(4月1日施行)

《賛成・全員》

条例の一部改正

一般職の職員の給与

人事院勧告に準じて、一般職の給与月額を400円から2000円引き上げ、勤勉手当の支給割合を100分の5引き上げ、住宅手当は支給対象となる家賃額の下限を4000円引き上げ、手当の上限を1000円引き上げる。

《賛成・全員》

質疑

ラスパイレレス指数は

山橋議員 1級〜3級の職員の給料の引き上げと

いうことだが、本町のラスパイレレス指数は、また県内町村で、当町の順位は。
当町は96・8%
織田総務課長 本年度の当町のラスパイレレス指数は96・8%である。県内の町村で、当町は高い方から6番目になる。

●ラスパイレレス指数
国家公務員の給与水準を100として地方公共団体の一般行政職の職員の平均給与額と比較したときの指数。

町長・副町長・教育長及び議会議員の期末手当

一般職の勤勉手当の支給割合の改定に準じて、それぞれの期末手当の支給割合を100分の5引き上げる。
《賛成・全員》

専決処分を承認

令和元年度一般会計補正

有害鳥獣被害対策

イノシシの捕獲頭数が8月9月で176頭、例年の2・8倍となった。駆除に対する報償金が10月以降不足するため、イノシシ234頭分とタヌキ等140匹・カラス189羽分を有害鳥獣被害対策事業費補助金として534万円を補正する。
《承認・全員》

町道の認定

2路線を町道に認定。
《賛成・全員》

①町道上流屋敷2号線
(上流)

延長59m

幅員3・0㍍4・0m

②町道岩神線(谷ノ内)

延長38・3m

幅員2・0㍍3・4m

人事

○教育長の任命

織田誠 越知甲



任期は、令和3年12月23日まで
《同意・全員》

《同意・全員》

議会報告・懇談会を開催します

谷ノ内(地区以外の方も歓迎します)

多くの皆様の参加をお待ちしています

日時 令和2年2月21日(金)
午後5時30分~7時
場所 谷ノ内集会所

議会のことを報告します

- ・議会の概要
- ・12月定例会の主な審議内容

皆様からのご意見をお聞かせください

- ・これからのまちづくりなど、何でも結構です
- ・町議会、町政へのご意見

- ◆お問い合わせ等は議会事務局までお願いします
TEL26-1112 FAX26-0600
- ◆ご意見ご要望などは、メールでもお受けします
E-mail:gikai@town.ochi.lg.jp

今号の表紙



1月3日に町民会館で開催された新成人の集いには、46人全員が参加しました

一般質問6人登壇



町政を問う

12月定例会は6人が一般質問を行いました。発言内容は紙面の都合で要約してまいりますので、ぜひ議場に足を運んでいただき、白熱した議論を傍聴してください。なお、全文を記載した会議録は、議会事務局と町のホームページ(<http://www.town.ochi.lg.jp>)でご覧下さい。

森下安志・・・16ページ



- ① 防災行政無線
・予備電源の利用時間は
・通信手段は
- ② 環境問題
・黒瀬公衆トイレ循環式の改善は
・簡易トイレの再設置は
・かわの駅おちの駐車場は

武智 龍・・・17ページ



- ① 政策課題の共有
・最重要課題と取り組みは
- ② 農業振興
・加工用わさび
・土佐甘とう
・高齢農家への支援
- ③ ごみ籠の設置

市原静子・・・18ページ



- ① 子ども対策
・未婚ひとり親の特別給付金は
・高校卒業まで医療費を無料に
・給食費補助金は
- ② 防災対策
・全戸に配る考えは

箭野久美・・・19ページ



- ① 町道・県道の安全対策
・対策を強化すべきでは
・自転車走行ラインを
・意識向上を図る考えは

高橋丈一・・・20ページ



- ① 教育行政
・保幼再編の進捗状況は
・副食費を無料に
- ② 高齢者対策
・手すり等の設置を
- ③ プレミアム商品券
・購入率は

岡林 学・・・21ページ



- ① 上水道・簡易水道
・統合の目的と内容は
- ② 五葉荘
・訪問介護になったが
- ③ まち・ひと・しごと創生総合戦略
・サンショの今後の連携と取り組みは



危機管理課長 森下安志 議員

防災行政無線 予備電源の利用時間は 約52時間使用できる

問 防災行政無線停電時の利用時間は、また、各地区の防災倉庫にある発電機から電源が取れないか。

上田危機管理課長 親局は、地震等による停電の発生時に自動で始動する非常用発電機を設置している。この発電設備は、軽油100ℓで約52時間使用できる。地区の子局は、約48時間保持可能な蓄電池装置を設置している。発電機の電源を使用できる設備は備えていない。

問 通信手段は、交互通信ができない地区の通信手段を考えているか。

上田危機管理課長 連絡通話機能のない地区の通話手段として消防用の無線を使用する。また、災害時に優先的に通話可能な特設公衆電話を集会所等に設置できるように準備していく。



何種類かの通信手段を

環境問題

黒瀬公衆トイレ循環式の改善は 来年度予算で 企画課長



改善を望む黒瀬公衆トイレ

問 トイレの流し水が茶色で使用できないと子どもたちが言っている。循環式トイレの水を水道水に改善できないか。

大原企画課長 循環式トイレの改善は来年度予算に計上したい。そして、浄化槽の清掃回数を増やす。

問 宮の前公園を利用する多くの人から、かわの駅おち1階のトイレは遠くて不便との声があるが、簡易トイレの再設置はできないか。

大原企画課長 簡易トイレ設置時の年間経費が1

00万円以上かかっていない。そのため、再設置は考えていない。

問 かわの駅おちの駐車場は、定休日に駐車場と2階トイレの利用ができないのか。

大原企画課長 防犯対策のため、火曜日の閉店後から木曜日の閉店前まで駐車場に入れないようにチェーンを掛けている。1・2階トイレは、いつでも利用できるようになっていく。

政策課題の共有

最重要課題と取り組みは

防災と人口減対策、産業振興だ 町長

問 本町の最重要政策課題3つと今後の取り組みは。

小田町長 防災・減災対策、人口減対策、産業振興だ。

令和7年度までに住宅耐震化率を67%、8年度までに40t級防火水槽の耐震化を終了させる。住宅改修や耐震リフォーム補助を継続させ、令和2年度から5年間で

報インフラ未整備全地区を解消する。中山間地域直接支払制度等で農地を維持し、令和2年度から集落ごとの課題を抽出する。商店街活性化計画に基づき、活性化と新規起業者を5人増やす。森林経営管理制度を活用し、経営に適した人工林は林業事業者へつなぎ、令和2年度から5年間で間伐を60ha、林業従事者を5人、新規参入事業者1社の確保を目標に取り組む。

農業振興

加工用わさび

問 反当たり100万円を越す収入になる加工用わさびの栽培農家が、30年度から減少している。今後の取り組みは。

有望品目として推進

田村産業課長 JAと普及所が講習会や個別巡回を実施し、町は新規就農希望者への呼びかけや相談体制を支援している。今後も冬場の有望品目として推進していく。

土佐甘とう

問 土佐甘とうは県内で10年以上の栽培実績があり、反当たり400万円以上の収入となる有望作物だ。町は今後栽培面積を拡大する計画だが、本気で取り組むのか。

県の事業を活用

田村産業課長 県の園芸用ハウス整備事業を活用して要望に応えたい。栽培面積の拡大は、コスモス行政官農振協会で検討していく。

高齢農家への支援

問 高齢化により耕作放棄地が拡大しているが、通年雇用で支援ができる特定地域づくり事業推進法を活用できないか。

年明け以降検討

國貞副町長 同法は令和2年6月に施行されるが、詳細な制度設計や運用基準が同年1月に示されるので、具体的な動きの検討はその後になる。

ごみ籠の設置

問 地域の人が出たごみが、カラスや猫などに袋を破られて中身が散乱し非常に困っている。専用の籠は設置できないか。

集落整備事業で補助

織田総務課長 籠の設置は、集落整備事業で補助しているが、周知が十分でなかったため、今後区長への説明や町広報などで周知する。



武智 龍 議員



関東方面に出荷されている土佐甘とう



矢野久美 議員

町道・県道は生活道として車以外にも多くの歩行者や自転車等が利用している。また、近年はサイクリングを楽しむ人も増加している。安全対策を強化すべきでは。



彼女の右腕は何を示しているのか

町道・県道の安全対策 対策を強化すべきでは 対策をとる必要がある

建設課長

前田建設課長 道路の環境、交通手段など、さまざまな社会情勢が要因でその安全対策も変化している。その状況に合わせて、道路利用者の安全を確保するような対策をとる必要があると考える。

自転車走行ラインを

一般交通の影響も考慮しながら検討したい

建設課長

前田建設課長 シニアカー等交通手段の多様化により複雑な道路環境になると想定している。ガードレール、カーブミラー等で解決できるものは設置を行っている。またカラーのライン、カラー舗装等の視覚的な注意を促す対策も考えられるが、一般交通への影響も考慮しながら検討したい。県道については県へ要望を出し検討してもらいたいと考えている。

問 自転車利用者がより安全に走行できるように、また、車の運転者にも注意喚起が促されるよう、ラメ入り塗装で自転車走行ラインを引くなどの整備ができないか。

意識向上を図る考えは 啓発を実施し、安全意識を高めたい 危機管理課長

問 自転車利用者が安全に走行するために、ロード・ソフト両面での対策としてマナー向上等の啓発があげられる。交通安全教室など広く開催し、受講者に「ライセンスカード」、「きさらステッカー」等配布し意識向上を図る考えは。

上田危機管理課長 自転車は車両であるという認識が低く、交通ルールやマナーを無視した走行は危険である。平成31年4月1日、「高知県自転車の安全で適切な利用の促進に関する条例」が施行された。これを踏まえ自転車の交通安全に関する啓発を実施して、安全意識を高めていきたい。



よコジローライドオンバイク (あくまでもイメージ)



子ども対策

未婚ひとり親の特別給付金は

申請書は直接本人に渡している 住民課長



市原静子 議員



今日の給食はなにかな

問 未婚ひとり親を支援する特別給付金が、来年1月に支給されるが、事前に知らせているか。申請期限は、1月以降も受け付け、随時支給できるのか。

井上住民課長 8月の児童扶養手当現況届の提出と合わせて、対象となる人に通知し、申請書は直接本人に渡している。期限は、令和元年12月20日としている。1月以降の申請は、原則として震災等の理由がある場合のみ受け付け、随時支払うことになっている。

問 子育て家庭の経済的負担は大きく高校卒業まで医療費を無料にとの声があるが、考えは。

井上住民課長 高校生の医療費無料を実施した場合は、年間の試算経費は約220万円必要となる。

問 子どもが多いと給食費の負担は厳しい。補助金は出ているのか。また、無料にする考えは。

山中教育長 補助金は出していない。就学援助費の中の給食費、子育て支援第3子以降の児童・生徒無償扶助を行っている。小・中学生合計222人の給食費は、1572万円。全額町の単独負担となるため、現時点では困難である。

問 災害避難時に、住民がとるべき行動レベル1から5の段階に分けた避難指示の内容が書かれたものをテレビでよく見る。高齢者によく分かるように大きく書いたものを全戸に配る考えは。

上田危機管理課長 5段階の警戒レベルは、住民が水害や土砂災害に関する防災情報の意味を理解し、取るべき行動を明確にしたものである。家庭ですぐ見ることができるようチラシを作成し全戸に配布する。

5段階の警戒レベル区分

警戒レベル	取るべき行動	市町村が発令	気象庁が発表
5	命を守る最善の行動	災害発生情報	大雨特別警報 ^{※1} 氾濫発生情報
4	避難	避難指示(緊急) 避難勧告	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮特別警報 ^{※2} 高潮警報
3	高齢者等避難 他の住民は準備	避難準備 高齢者等避難開始	大雨警報 洪水警報 ^{※3} 氾濫警戒情報 高潮注意報 ^{※4}
2	避難行動の確認	-	大雨注意報 洪水注意報 ^{※3} 氾濫注意情報 高潮注意報 ^{※4}
1	心構えを高める	-	早期注意情報(警報級の可能性)

手元にあると安心

防災対策 全戸に配布する 危機管理課長



高橋文一 議員

教育行政

保幼再編の進捗状況は

1年延長したい 教育長



寒さにも負けず元気に遊ぶ保育園児

問 保幼再編は令和2年4月の予定と聞いていたが、進捗状況と再編後の名称は。

山中教育長 職員や保護者と保幼再編の説明会を開催したが、検討すべき課題が多く、今後も協議が必要となり1年延長したい。名称は保育園、幼稚園のまま再編する。

副食費を無料に

問 保幼無償化の対象外となる副食費を無料にする。

る市町村がある。本町は徴収しようだが無料にできないか。

山中教育長 副食費は月額4500円を徴収するが、国からの補助金はなく町の単独負担となり、財政上は困難であると考ええる。

定住、移住、少子化対策や子育て支援を考えると、検討が必要な時期も来るのではないか。

問 教育環境を整え学力だけでなく大臣表彰等を受け、学校教育全体をトップレベルに引き上げた取り組み体制を問う。

山中教育長 平成23年度から学校改革を始めたが、前向きではなかった。

どうすればいいのかを考え、校長のリーダーシップで方針と目標を決め、その考えに理解ある先生のリーダー育成等で学力向上を図り、現在は全国学力テスト1位県の平均を超えている。

学力向上以外では、コミュニティ・スクールの実施や読書環境の整備などを図り、坂本教育賞等を受賞した。

県外からの視察件数も増えた。教師が変われば、また本気になれば、子どもは必ず変わり成長することを実感した。

高齢者対策

手すり等の設置を

検討したい

教育次長



手すりとしては高すぎるスロープ柵

プレミアム商品券

購入率は

16%となっている 産業課長

問 博物館の通路に高齢者用の手すりの設置を。

谷岡教育次長 高齢者への配慮として、滑り止めの塗装や手すりの設置、また貸し出し用のつえの対応を検討したい。

問 購入率が全国的に低いようだが、本町の購入率は。

田村産業課長 現状の申請率は34%で、チケットの購入率は16%となっている。

上水道・簡易水道

統合の目的と内容は

補助金を受けるため、2年4月1日に1本化する

環境水道課長

問 上水道と簡易水道統合事業の目的と内容は。

岡田環境水道課長 平成21年度までに、簡易水道統合計画を策定しない場合、国庫補助金を受けられないことになった。期限である令和2年4月1日には、現在の上水道事業と簡易水道事業を統合し、一本化する。

岡田環境水道課長 近年の水道事業の経営は、給水人口の減や節水器具の普及で給水収益も年々減っている。当町の料金統一には、上水道料金を簡易水道料金に合わせるように、早め利用者へ周知する。



水道施設整備が完了している野老山地区

問 一般家庭の水道料金は、上水道の基本料金は330円、簡易水道は530円である。簡易水道も330円の基本料金にすることはできないか。

五葉荘

訪問介護になったが支援ができなくなった 保健福祉課長

小田町長 介護職員は慢性的に不足している。賃金、待遇を良くすれば増える状況でもないと分析している。しかし、入所者が快適に介護・養護を受けられる環境は必要と考える。今後、広域3町で協議する。

問 養護老人ホーム五葉荘に、本町の社協が訪問介護に入るようになったがどうしてか。

国民保健福祉課長 社協が介護として入りだしたのは、養護老人ホーム入所者の半数以上が介護認定を受けており、職員の介護にかかる時間が増え、以前はできていた支援ができなくなったため、外部からの入浴介護を利用し始めたと聞いている。

問 職員不足や賃金、組織体制問題があるのでは。

まち・ひと・しごと創生総合戦略

サンショの今後の連携と取り組みは

改植と第三者への移譲も進める 産業課長

問 戦略の中で、農業は町一番の産業である。サンショは、山椒組合31人、ヒューマンライフ土佐は、町内外で262人が生産に関わり、多くの収益を上げている。

しかし、高齢化、後継者不足で作付面積は増えていない。今後の連携と取り組みは。

田村産業課長 組合、ヒューマンとは、月一度の会をしている。ヒューマンでは、現状の面積確保を今後の方針としている。老木が目立つため、改植を進めている。また、高齢農家が増え、経営移譲する親類もいない場合、今まで認めていなかった第三者への移譲も進めていくなどの計画を立てている。



5月に食用の青実を収穫

広報常任委員会(委員長・市原静子、副委員長・高橋文一)5人は、令和元年に2つの広報研修に参加し、2市議会の広報視察を受け入れました。



市原静子



高橋文一



箭野久美



森下安志



小田範博

広報研修

クリニックを受ける

昨年7月に開催された全国町村議会広報クリニックでは、議会広報サポーターの芳野政明氏による広報クリニックがあり、おち町議会だよりNo.128号を含む15町村が診断を受けました。

また、「住民に読まれ、伝わる、議会広報編集ポイント」として、全国1位の埼玉県寄居町の広報をはじめとして多くの実例を交え分かりやすく解説していただきました。

取り組みを発表

昨年11月に開催されたこうち人づくり広域連合主催の広報研修では、第一部で市原委員長が講師として「越知町議会の取り組み」取材から編集ま

で議員自らが参画！と題して発表をしました。第2部では、埼玉県三芳町秘書広報室の佐久間智之氏による講義が行われ、すぐに使えるデザイン術をはじめ、誰にでも情報を伝えるためのUDフォント活用、ユニバーサルデザインなど参考となる講義を受講しました。両研修ともに、編集テ

クニックを学べたこと、また、新たな気づきがあり非常に有意義な研修となりました。住民目線に立つて、1人でも多くの住民に手に取ってもらえるように、議会活動を分かりやすく、伝わる広報づくりを目標として、一層の創意工夫を重ねてまいります。

視察受け入れ

2団体、13人

平成19年から議会広報の視察を受け入れ始め、令和元年は、丹波篠山市6人、豊後大野市7人が当議会を視察しました。これまでに1府15県52団体418人を受け入れました。



視察をする丹波篠山市議会の広報委員



本町議会の取り組みを発表する市原委員長

広域議会

第4回定例会が12月3日に開かれ、条例の制定・一部改正、令和元年度補正予算など8件を全会一致で可決しました。一般質問は、1人が登壇しました。

春日荘

本年度8月5日に着工した耐震補強・空調設備工事が完成し、各居室の壁紙張り替え、廊下天井の張り替え、照明機器のLED化により、入居者から「明るくなって嬉しい」といった声が上がっている。

会計年度任用職員制度の開始

給与等に関する条例を新たに整備する。《賛成・多数》

ごみ袋

可燃ごみ袋に特小袋20円を加える。《賛成・全員》

条例

補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	0万円	15億6080万円
特別会計	特別養護老人ホーム	3337万円
	養護老人ホーム	715万円
		13億6250万円
		1億3114万円

《賛成・全員》

清掃センター

指定ごみ袋

入札の方法
指名競争入札
契約金額
561万6875円
契約相手
高知市朝倉内
村上産業(株)高知支店
支店長 濱田裕之
《賛成・全員》

一般質問

竹本文直 議員

(仁淀川町)

新規採用者の新任教育は

問 当組合は、一般事務職員の新規採用者にどのような教育をしているか。

研修を行う

谷内事務局長 採用時に全職種を対象に地方公務員としての責務等の研修を行う。
外部研修にも積極的に参加し能力向上に努めている。

組合長報告

養護老人ホーム五葉荘の現状

昨年まで定員の50人をほぼ維持していたが、今年度は退所者7人に対し、入所者3人の46人で運営している。

今後とも定員割れで厳しい財政運営が見込まれるが、入所定員の減員、それに伴う職員の減員も考慮しながら運営を行っていく。



特小サイズは300/440mm×540mm

清掃センター基幹的施設整備工事

白煙防止用ダクト上部の腐食による損傷部分の修復を追加するための増額。

変更後 1,541,190,000円
(7,590,000円の増額)
契約相手 虹技(株)山本幹雄 《賛成・全員》